

日本の未来を考える 地域共生社会とは？

高校生のための福祉セミナー第3回

2022.8.27 大分大学旦野原キャンパス・WEB

- 1 どんな福祉活動がある？
- 2 日本が直面する課題・将来の課題とは？
- 3 地域共生社会とは？

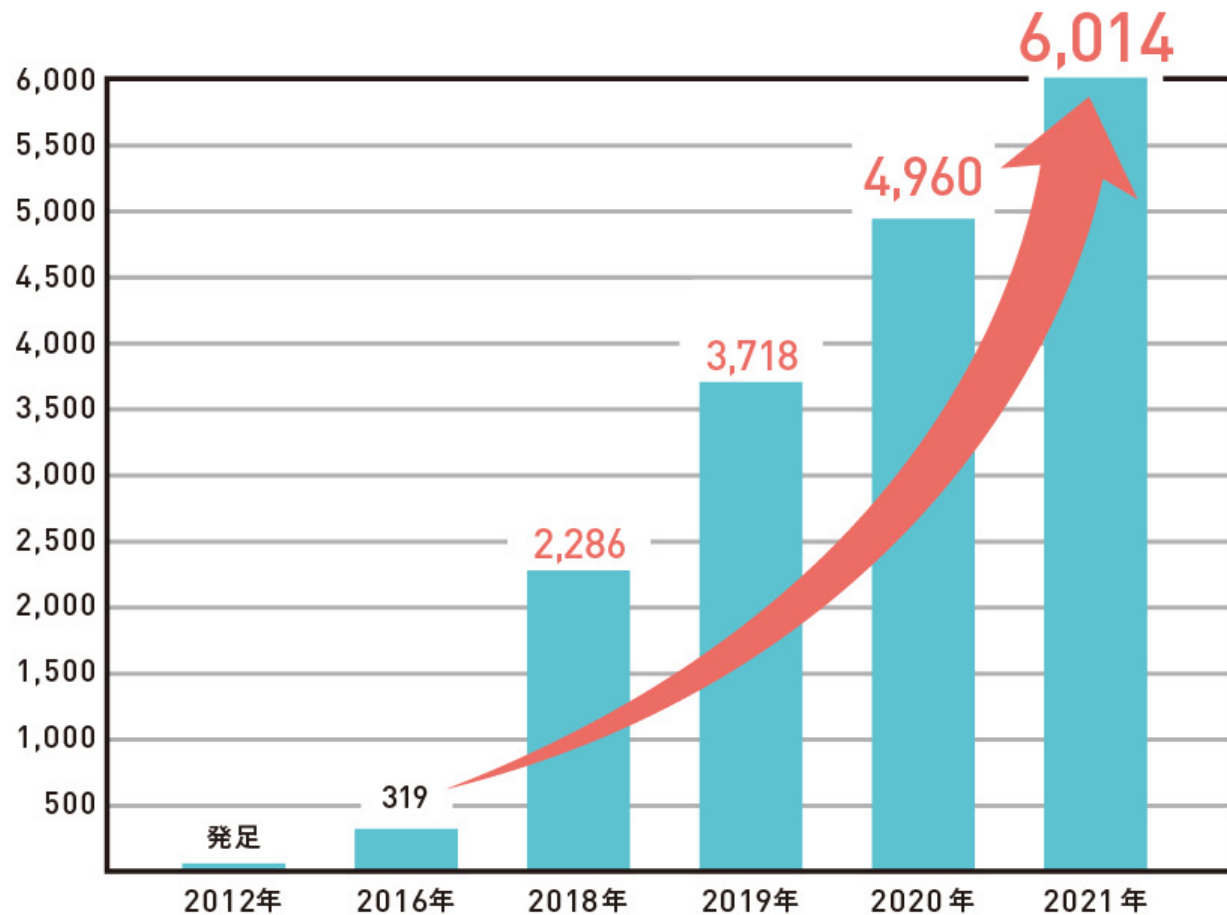
大分大学 福祉健康科学部
社会福祉実践コース
講師 齋藤 建児

質問

あなたが知っている
「福祉活動」には
こういったものがある
だろうか？

1 子ども食堂

子ども食堂の数は5年間で**約18倍増**



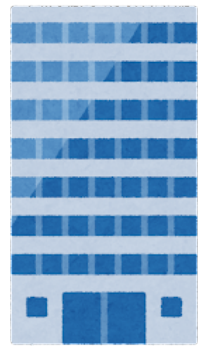
出所：NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ

出所：WAMNET:別府市ハスノハ子ども食堂

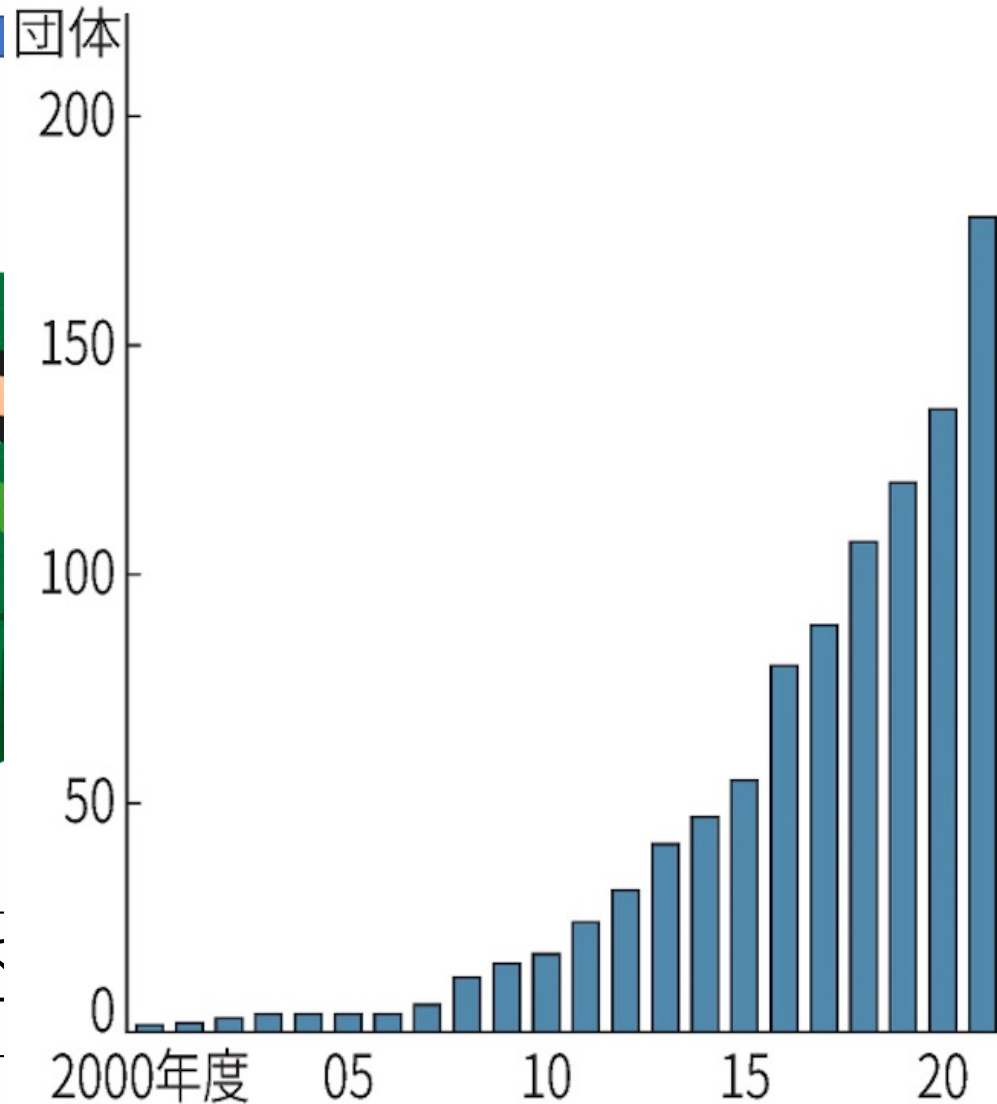
子ども食堂は、子どもたちに温かな食事や居場所を提供する場
また、子どもだけではなく、大人や高齢者、外国人も対象としている場もある。

1 フードバンク

コロナ禍前と比較すると**約5割増**
国内のフードバンク団体数



フードバンクは
に無料で提供す



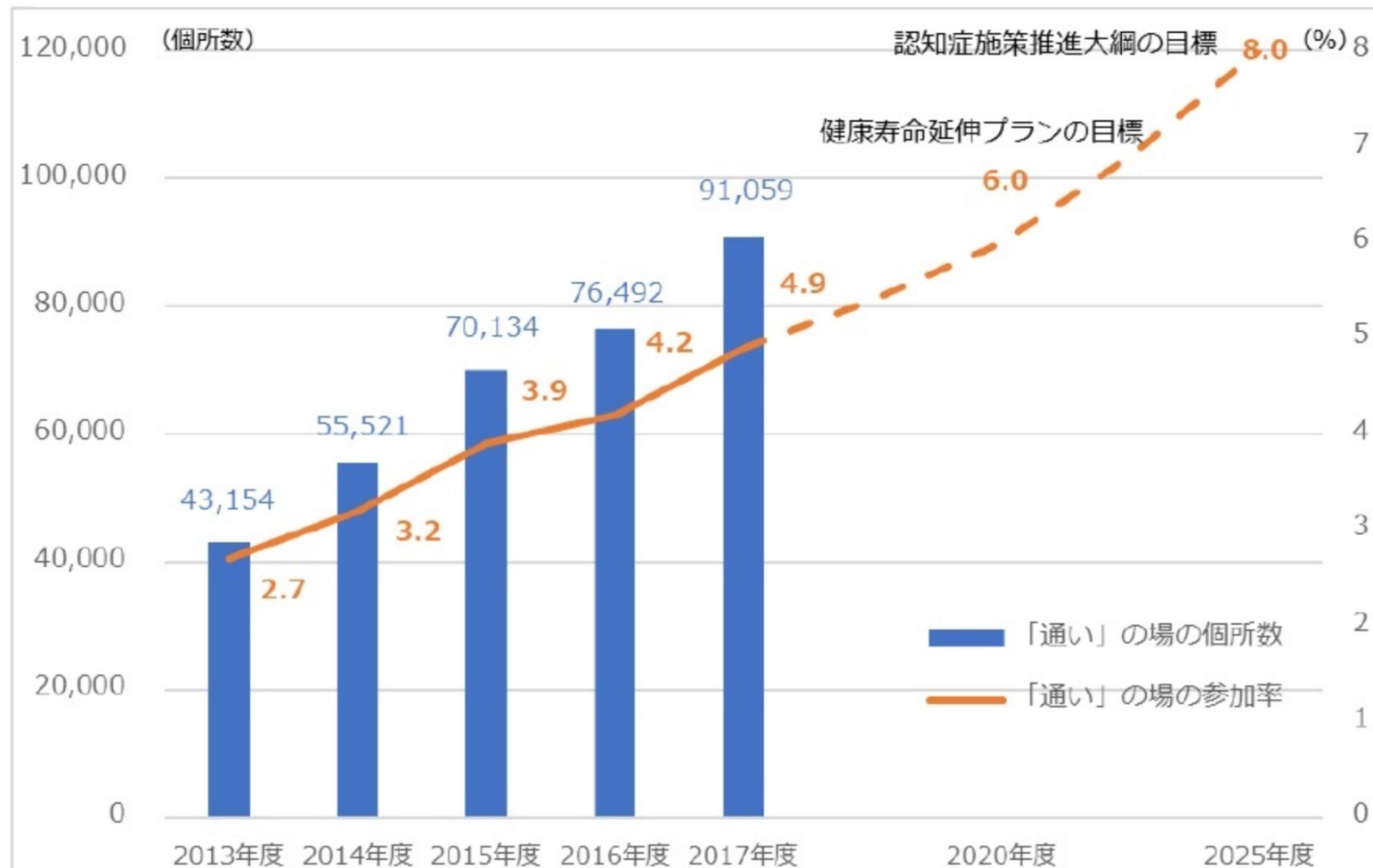
出所：農林水産省



舌困窮している方々

1 介護予防、集いの場、居場所づくり

通いの場の箇所数と参加率の実績、参加率の目標



出所：ニッセイ基礎研究所

蔵健康サロン

高齢者が地域の人々と交流することを目的として集まる場所
介護予防の運動、健康講話、茶話会などを通じて、生きがいづくり、孤立やひきこもり防止、助け合いの発展として効果が期待されている。

1 災害ボランティア



日本は、外国と比べて台風、大雨、洪水、土砂災害、地震、火山噴火などの自然災害が発生しやすい国土である。

阪神・淡路大震災（1995年）は全国各地から延べ137.7万人が被災地復興に貢献し、「ボランティア元年」と呼ばれている。

1 災害ボランティア



出所：大分大学HP 民家の床下の泥出し作業を行う学生（2020.7.22 九重町）

大分大学CERD（学生減災・復興デザイン教育研究センター）は
「学生だからできる活動を」をモットーに大分県内を中心に活動。
令和2年7月豪雨に伴う大分大学災害ボランティアに参加。

1 災害ボランティア



出所：中国デジタル（2020.10.10）2018年の台風19号で被災した宮城県大崎市の避難所で高齢者から相談を受ける県災害派遣福祉チームのメンバー <https://www.chugoku-np.co.jp/>

災害時の生活を支える福祉支援チームが派遣されている

DWAT（Disaster Welfare Assistance Team）＝災害派遣福祉チーム

質問

ここまで確認してきた
福祉活動に
共通するのは
どんなことだろうか？

1 地域生活課題の法的根拠

■ 社会福祉法第4条第2項

①福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える福祉、介護、介護予防、保健医療、住まい、就労及び教育に関する課題

→ 公的な福祉サービス

②福祉サービスを必要とする地域住民の地域社会からの孤立その他の福祉サービスを必要とする地域住民が日常生活を営み、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されるうえでの各般の課題
としています。

→ 「制度の狭間」にある問題

2 日本が直面する課題 将来の課題

■ かつての福祉課題への対応

- ・ 公的制度をもとに画一的、統一的アプローチが主流
例：貧困問題→生活保護制度で対応
- ・ 申請することが前提(申請主義)

2 日本が直面する課題 将来の課題

■現代の福祉課題への対応

- ・複合的、不可視的、潜在的、命に関わる問題として顕在化する特徴を持つ

例：貧困＋介護＋ひきこもり

- ・問題を抱える当事者、家族が非自発的、拒否的である場合もある→申請主義の限界
- ・制度だけではなく各自治体の裁量権が拡大
→自分達が暮らす地域の課題を自分たちで解決する

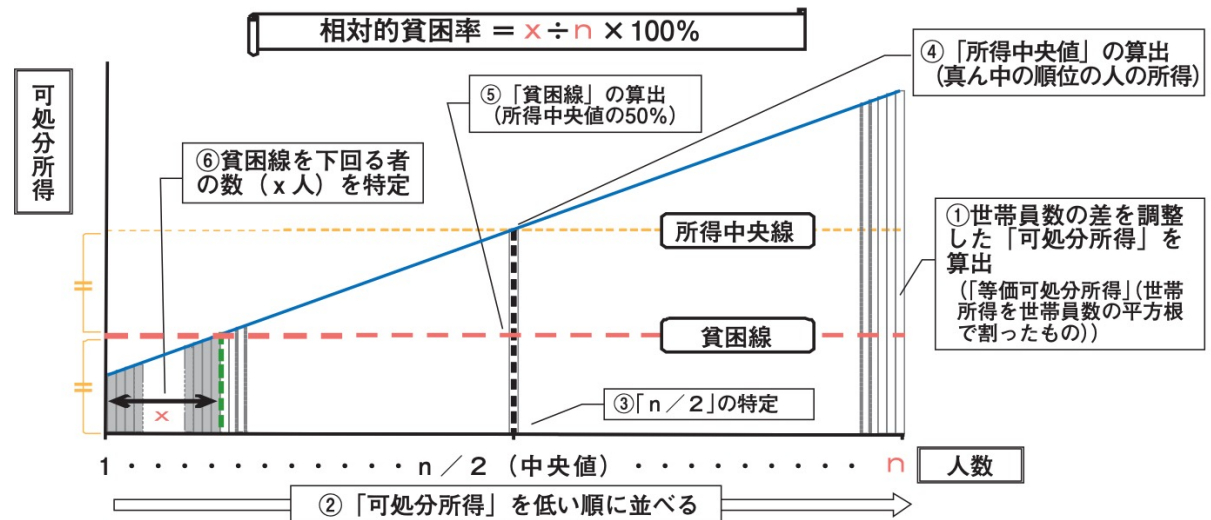
2 子どもの貧困

日本の子どもの**7人に1人**が相対的貧困



出所：一般社団法人 こども宅食応援団

「相対的貧困率」・・・所得中央値の一定割合（50%が一般的。いわゆる「貧困線」）を下回る所得しか得ていない者の割合。

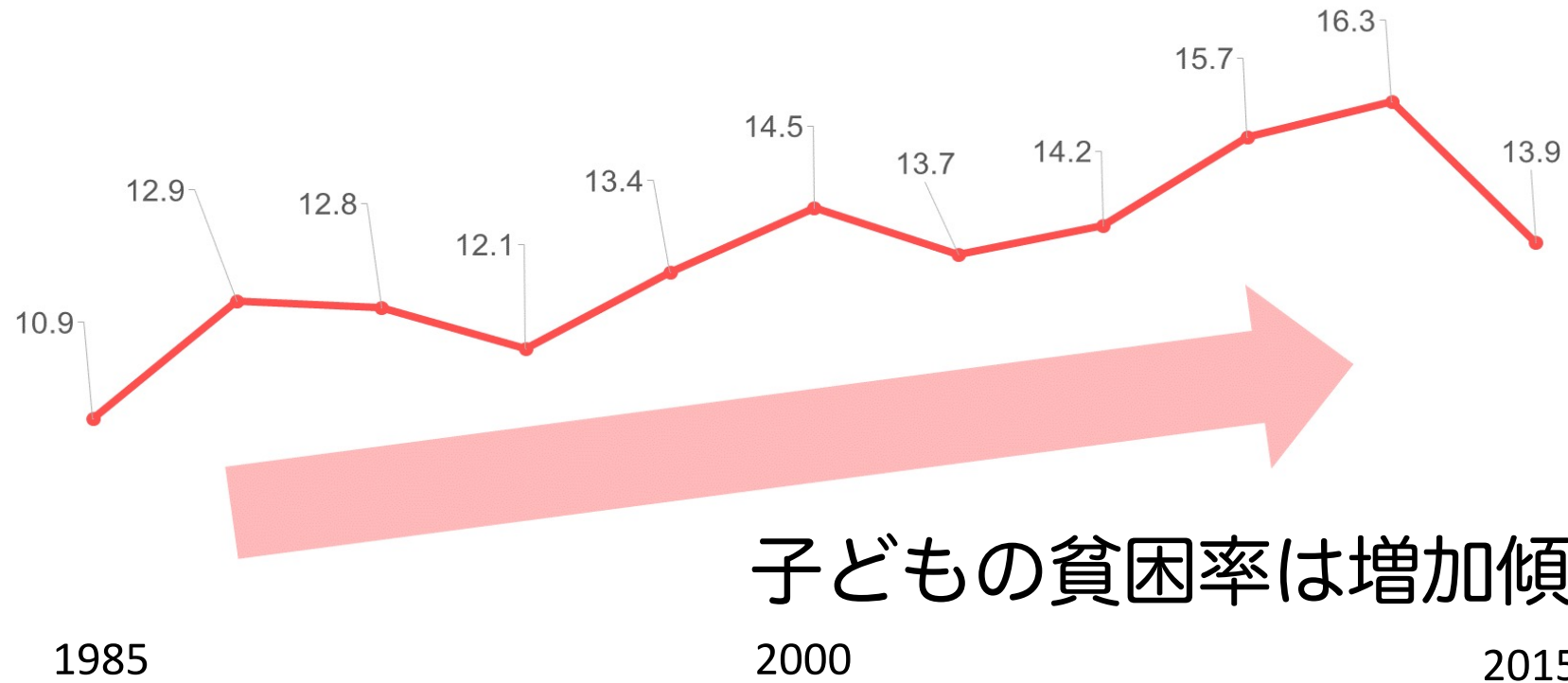


出所：厚生労働省資料

この日本における「子どもの貧困」とは「**相対的貧困**」のことを指す。相対的貧困とは、その国の可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の**中央値の半分に満たない世帯**のことを指し、子どもの貧困とは相対的貧困にある18歳未満の子どもが存在及び生活状況のことを指します。

こういった子どもたちは、**毎日の衣食住に事欠く「絶対的貧困**」とは異なりますが、経済的困窮を背景に教育や体験の機会に乏しく、地域や社会から孤立し、様々な面で不利な状況に置かれてしまう傾向にあります。

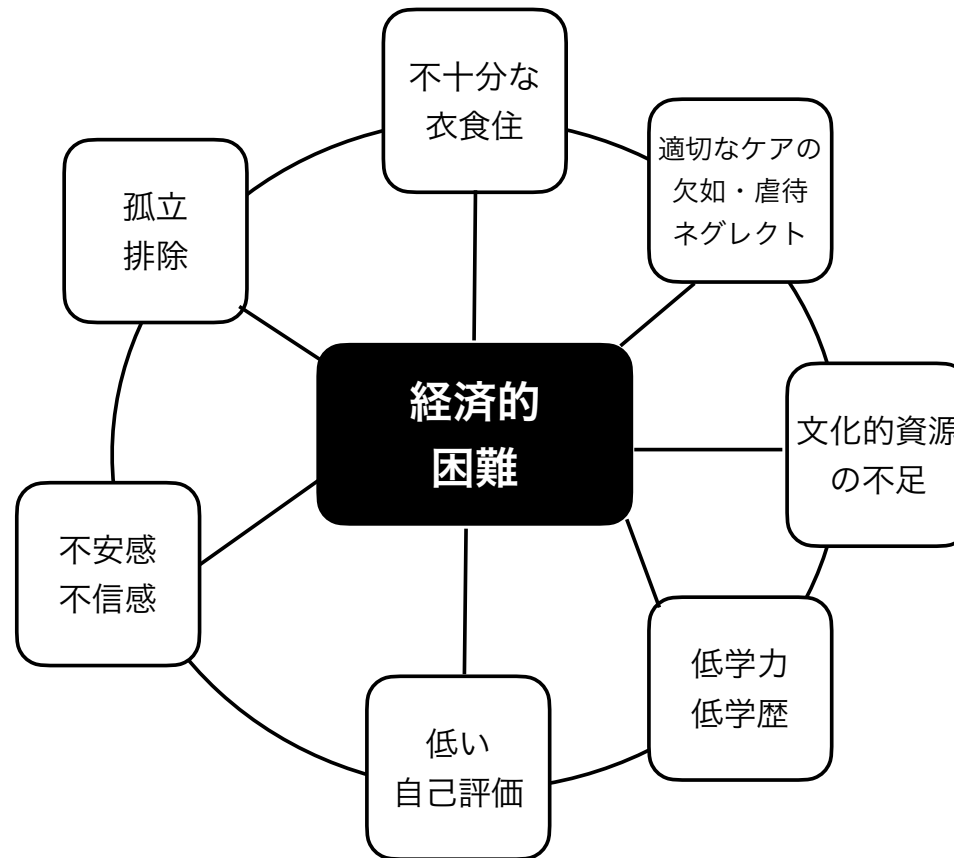
2 子どもの貧困



出所：一般社団法人 こども宅食応援団

2008年9月にアメリカのサブプライム住宅ローンを契機に発したリーマンショック以降、その影響で株価は大幅に下落し、日本においてもその影響を大きく受け、いわゆる「派遣切り」の問題が顕在化。

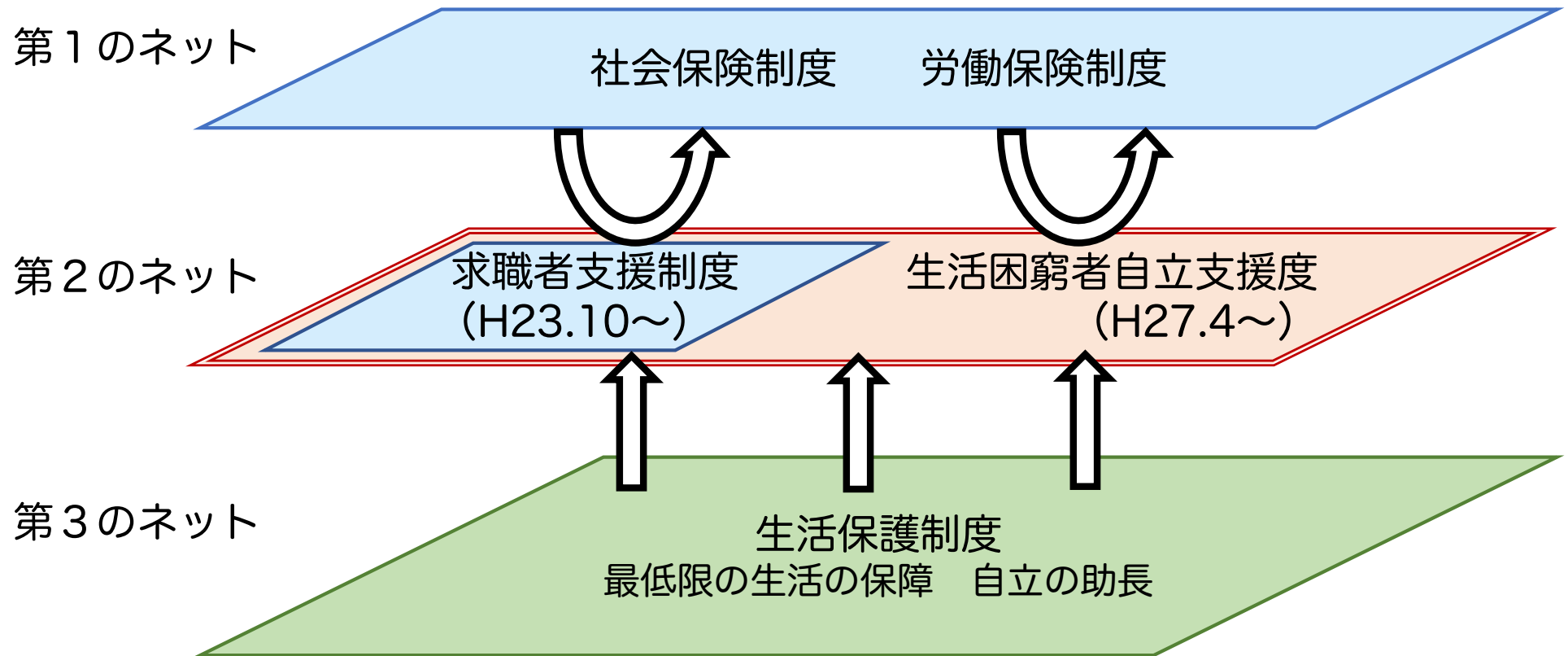
2 子どもの貧困



出所：子どもの貧困白書

子どもの貧困により、発達の諸段階におけるさまざまな機会が奪われた結果、**人生全体に影響を与えるほどの多くの不利を負ってしまう。**

2 生活困窮



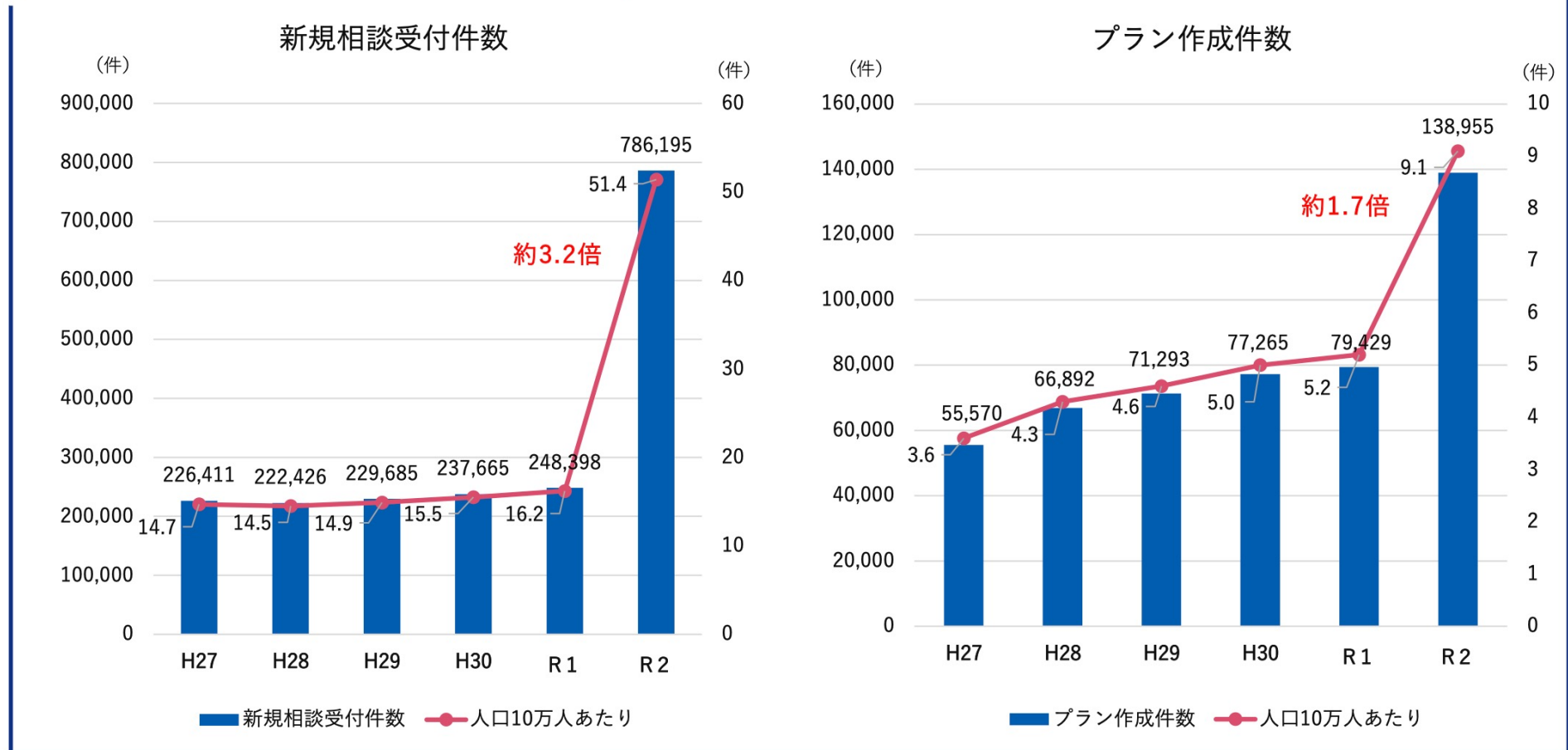
出所：厚生労働省資料

2015年生活困窮者自立支援制度施行

生活保護制度の前段階で自立を支援する制度

2 生活困窮

新規相談受付件数・プラン作成件数



出所：厚生労働省資料

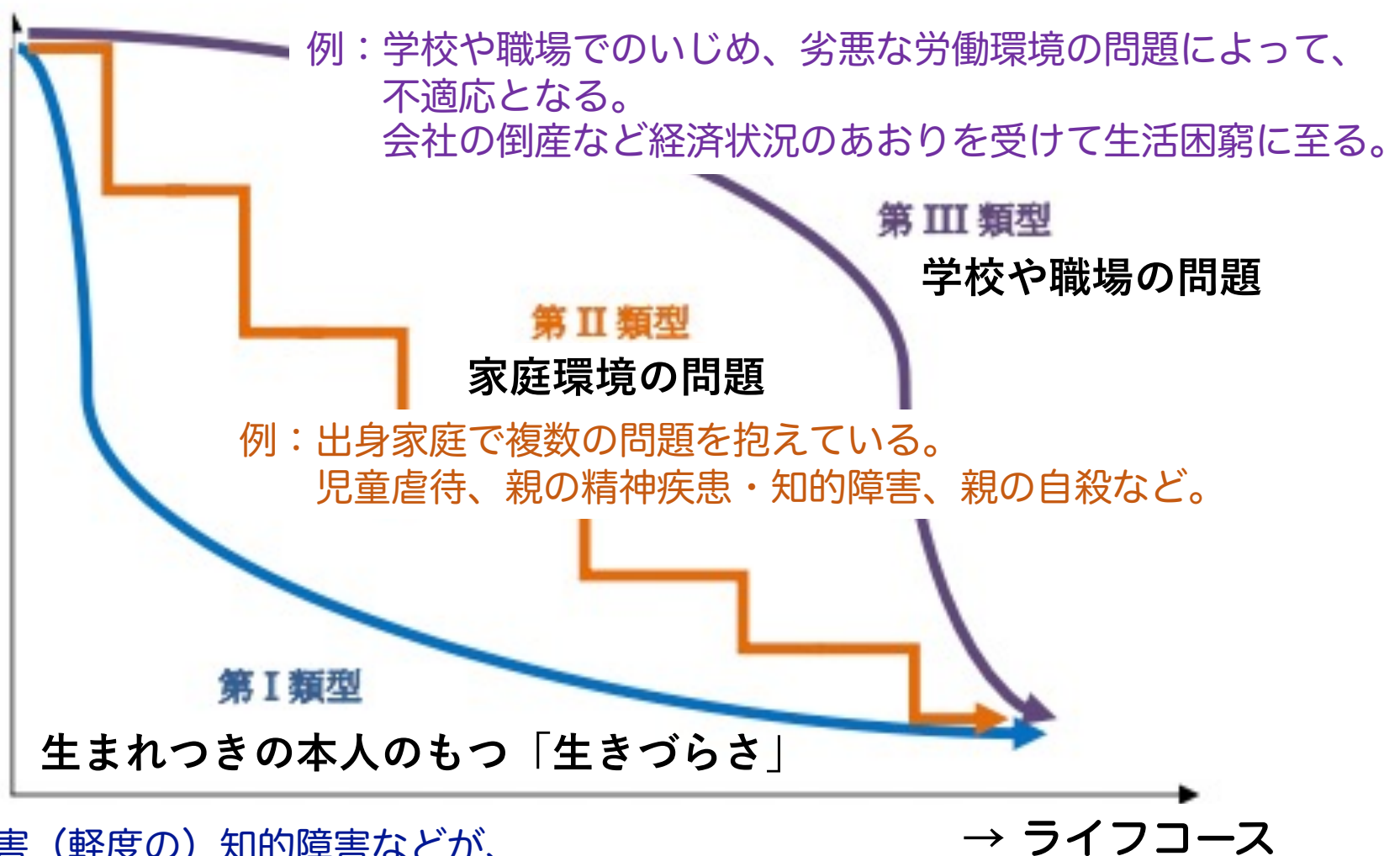
※ 支援状況調査（令和2年度の数値は速報値） 5

新規相談件数・プラン作成件数ともに年々増加しているが、
コロナ禍の影響で令和2年度は急増。

2 社会的排除

包摂

排除



例：発達障害（軽度の）知的障害などが、
発見されずに成長した場合、周囲の無理解から適応問題が生じる。
実家のサポートが弱く、社会的サポートが欠如。

出所：社会的排除リスク調査チーム 内閣官房社会的包摂推進室/内閣府政策統括官(経済社会システム担当)

人口構造、家族構造、地域構造、産業構造、雇用構造が大きく変容した結果、社会的に排除されてしまう人が増加している。

2 自然災害

○ 近年では、**毎年のように全国各地で**自然災害が頻発し、甚大な被害が発生。

【平成27年9月関東・東北豪雨】 【平成28年4月熊本地震】 【平成28年8月台風第10号】 【平成29年7月九州北部豪雨】



①鬼怒川における浸水被害
(茨城県常総市)



②阿蘇大橋地区の
大規模土砂災害
(熊本県南阿蘇村)



③小本川の氾濫による浸水被害
(岩手県岩泉町)



④赤谷川における
土砂・洪水氾濫及び流木による被害
(福岡県朝倉市)

【平成23年1月霧島山噴火】
(H29.10、H30.3噴火)



⑤新燃岳噴火による広域降灰被害
(鹿児島県霧島市)

【平成30年7月豪雨】



⑥小田川における浸水被害
(岡山県倉敷市)

【平成30年9月台風第21号】



⑦神戸港・関空における浸水被害
(兵庫県神戸市、大阪府泉佐野市)

【平成30年9月北海道胆振東部地震】



⑧厚真町の大規模土砂災害
(北海道勇払郡厚真町)

【令和元年8月前線に伴う大雨】 【令和元年9月台風第15号】 【令和元年10月台風第19号】



⑨牛津川の浸水被害
(佐賀県小城市)



⑩倒木の状況
(千葉県鴨川市)



⑪千曲川における浸水被害
(長野県長野市穂保地先)



出所：国土交通省資料

もともと日本の国土は地震をはじめ自然災害が起きやすい
中でも豪雨災害は激甚化・頻発化している。

2 自然災害

災害関連死

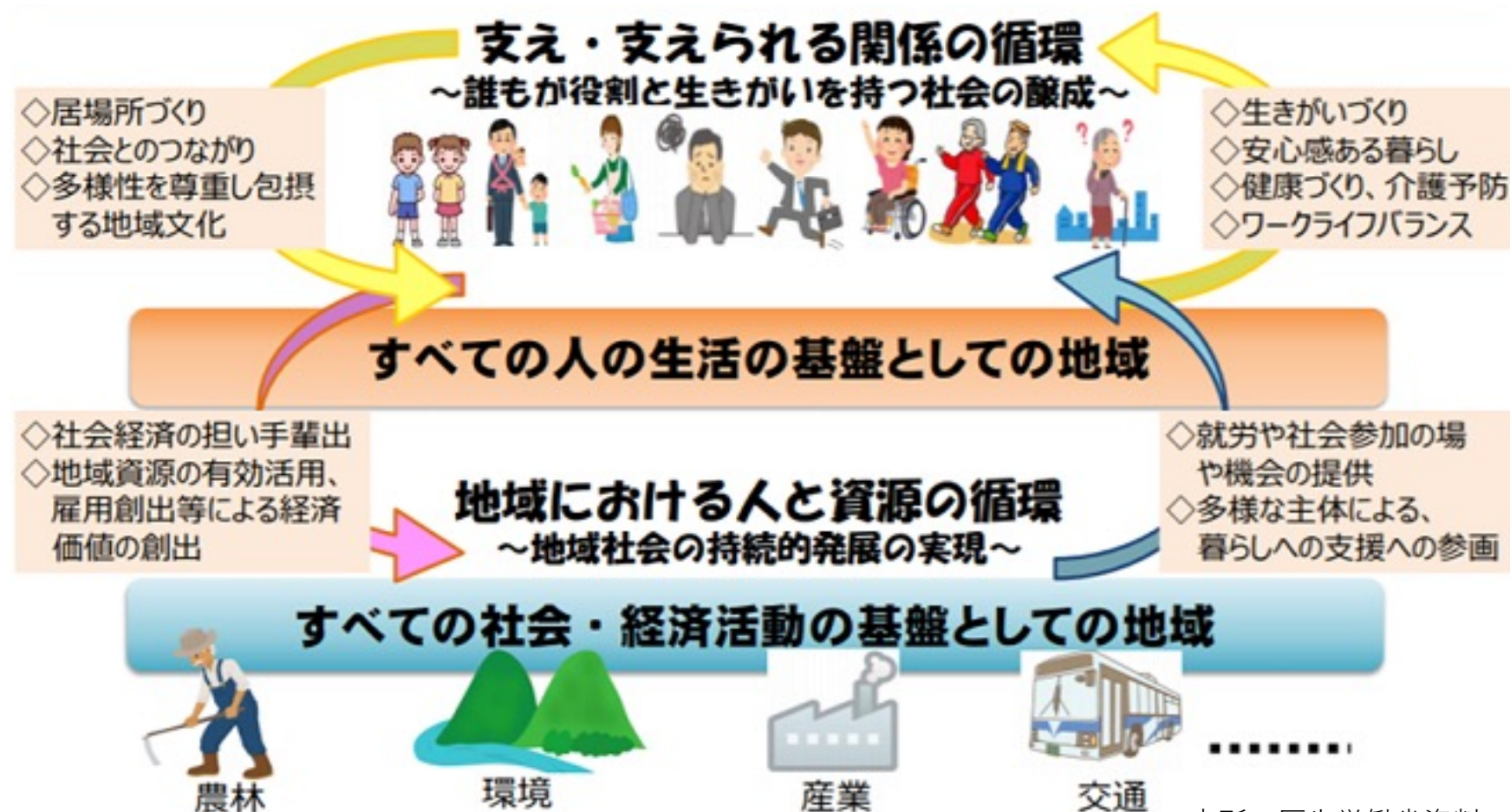
災害名称	死者・行方不明者	災害関連死
東日本大震災	1万8425人 (警察庁2021年3月現在)	3767人 (復興庁2020年9月現在)
熊本地震	50人	223人 (内閣府2019年4月現在)

課題解決に向けた対策を
考えてみよう

3 地域共生社会

従来 ⇒ 縦割り体制、支える側と支えられる側の関係

地域共生社会 ⇒ 包括的な体制、支え・支えられる関係

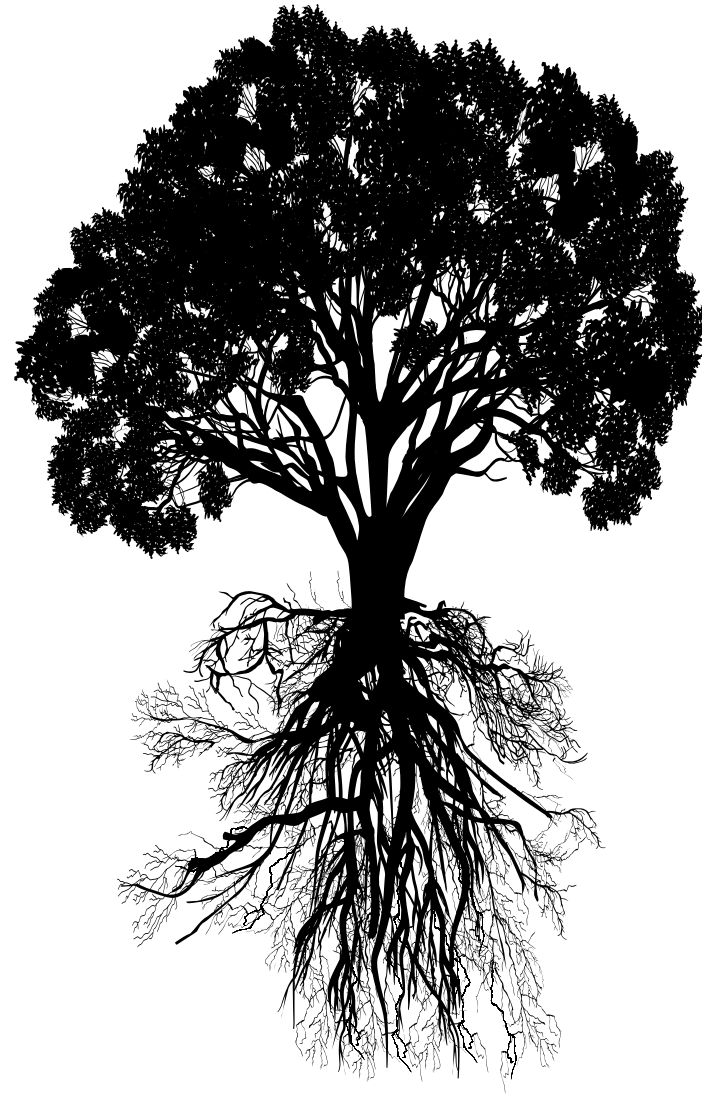
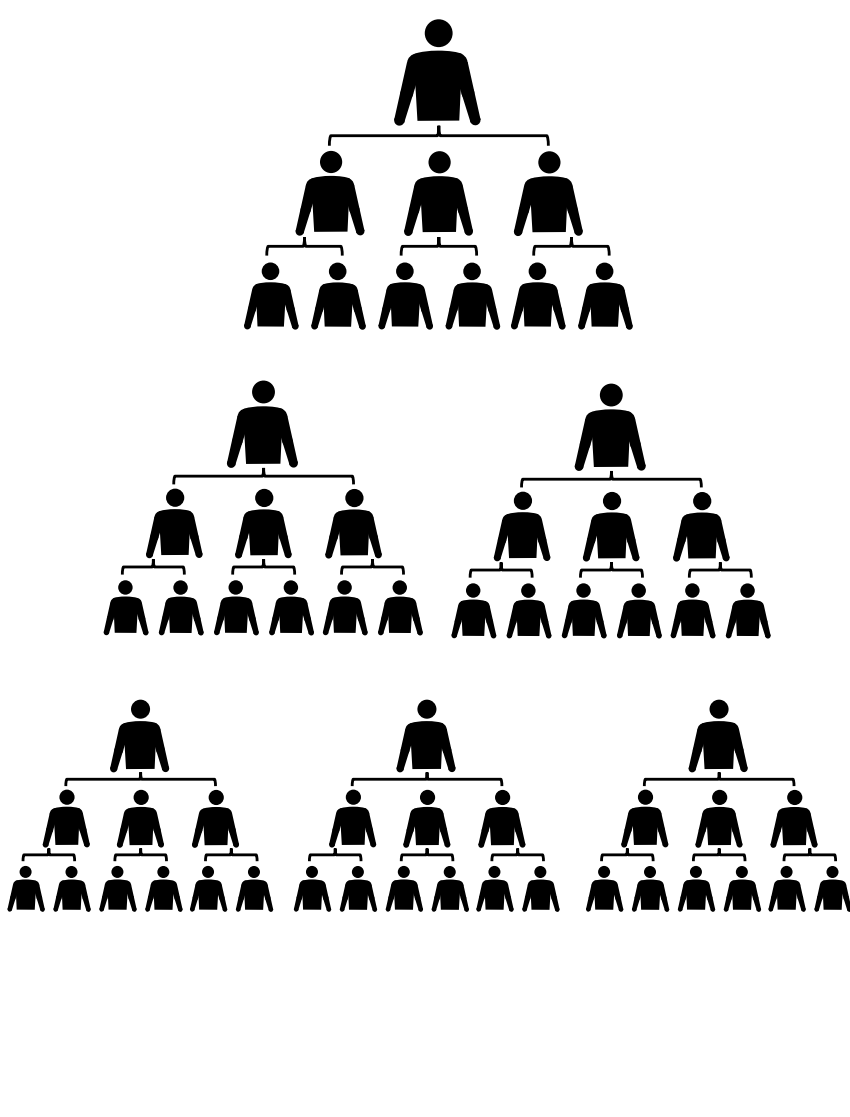


出所：厚生労働省資料

3 地域共生社会

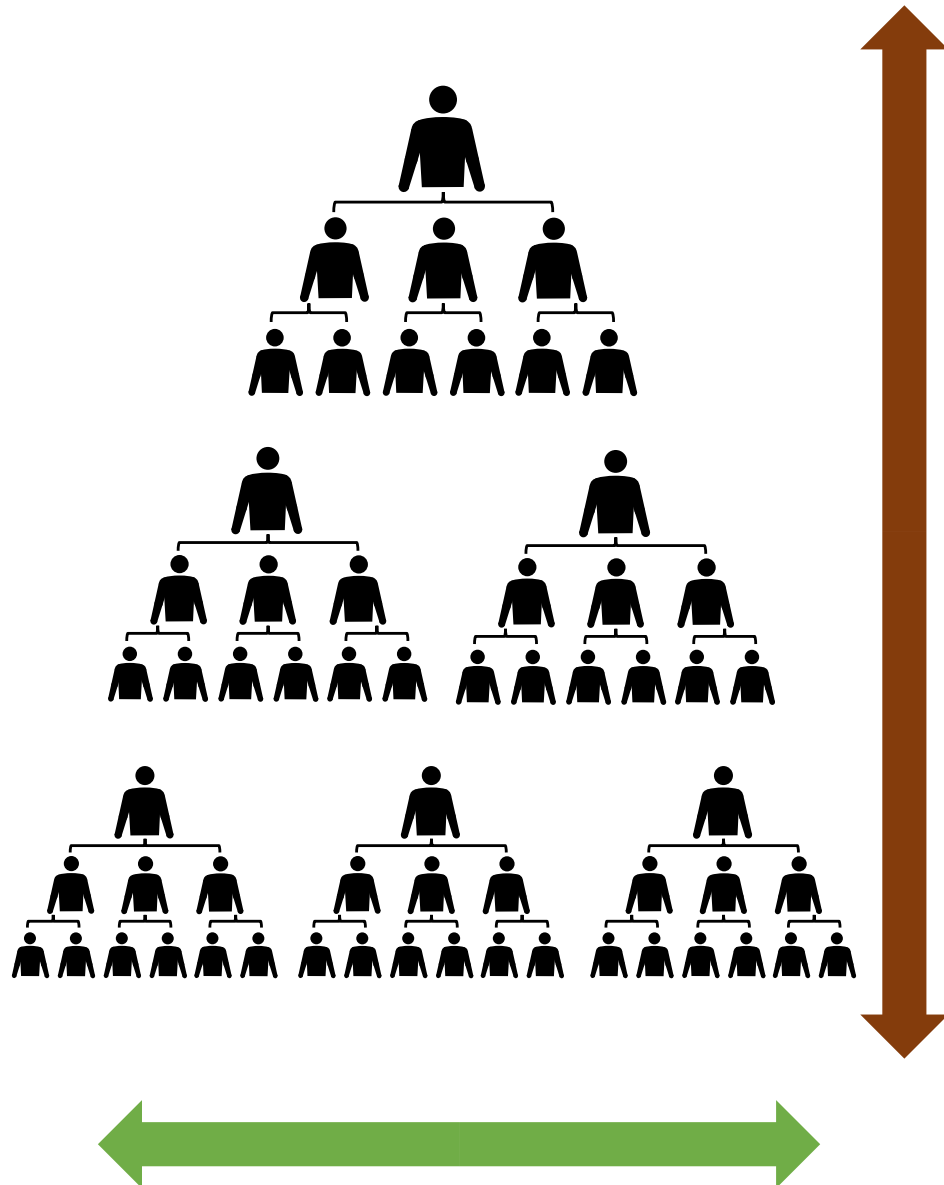
従来：縦割り型で対応できていた

Tree 樹木

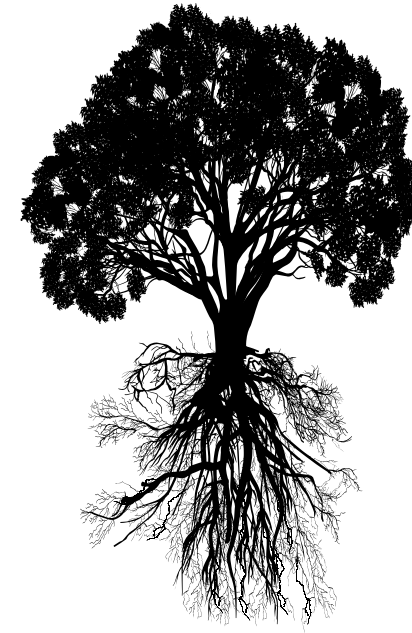


3 地域共生社会

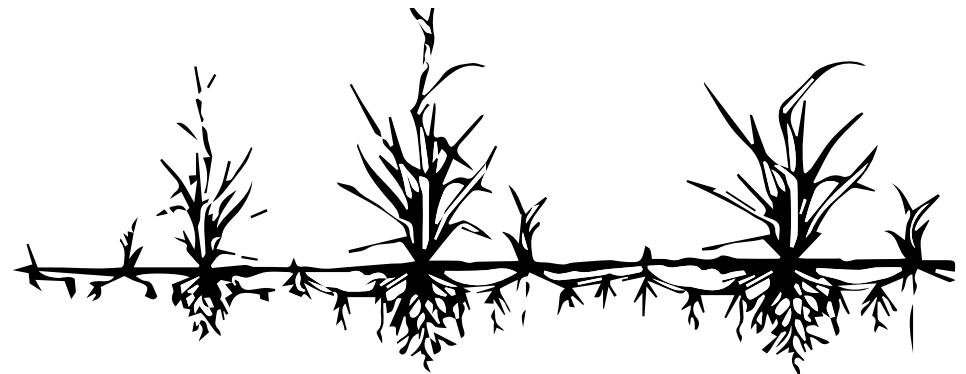
地域共生社会：縦割りの良い所を活かしつつ包括的な体制をつくる



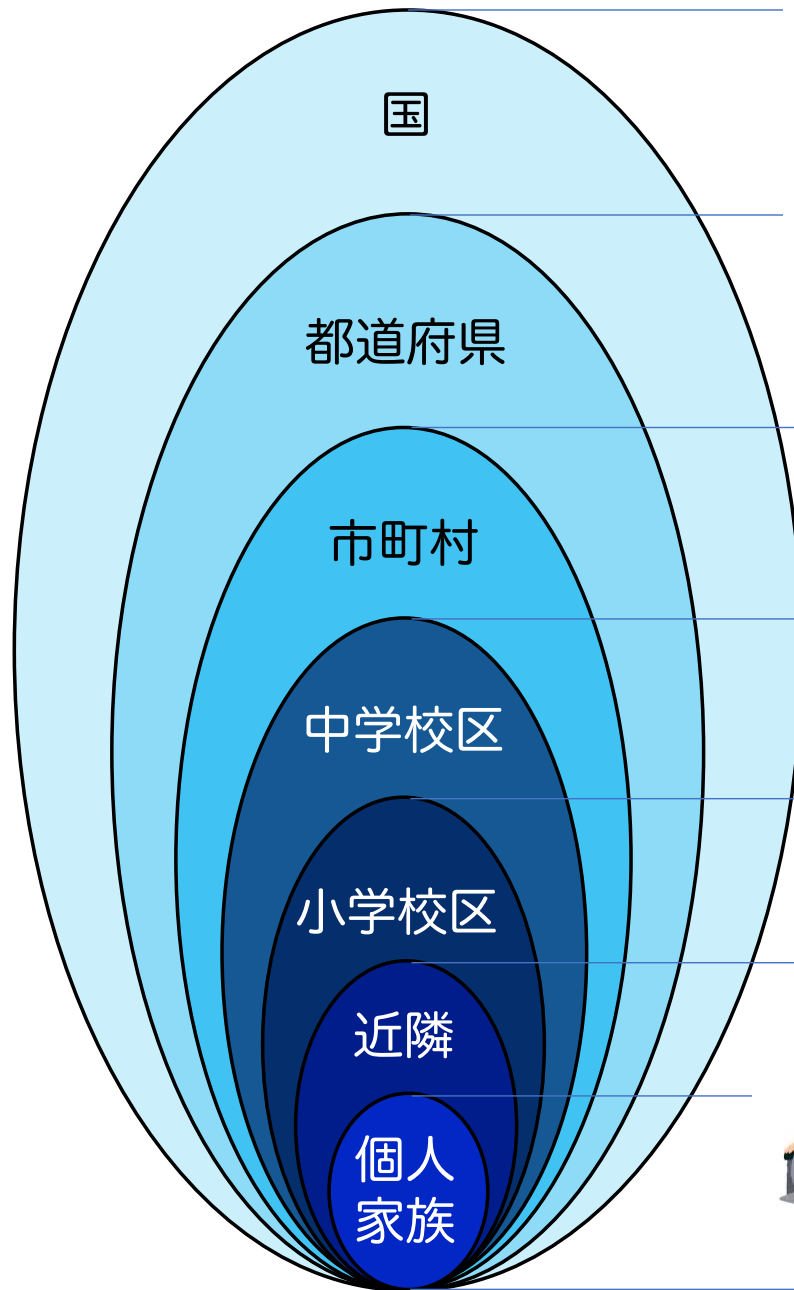
Tree 樹木



Rhizome 地下茎



3 地域共生社会



総論

⇒ワンチームになることが重要

各論

⇒大分大学で共に学び、
課題解決にむけて実践しましょう！



3 福祉健康科学部のAP

■大分大学福祉健康科学部

入学者受け入れの方針 AP：アドミッション・ポリシー

■基本理念

福祉と医療，心理を融合した新しい教育研究を通じ，【リハビリテーション学，社会福祉学，心理学】の学問領域に立ち，それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に修得することを通じて，「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことによって，より成熟した福祉社会の実現に寄与する。

➡ 直面している課題および未来の問題も考え、福祉社会の実現に寄与できる人材の育成